



ご自由にお持ちください

みんなのみなと

「みんなのみなと」は皆さんにとって身近な病院になりたい、皆さんと職員が一つになってこの病院を作っていきたいという思いで命名しました。



病院の理念 人道・博愛の赤十字精神のもと、患者の権利を尊重した良質で高度な医療を提供し、市民の健康増進に貢献する。

今号の表紙は、救命救急センターのスタッフです。

救急車受入れ台数は全国トップクラスであり、令和4年9月には公益財団法人日本医療機能評価機構から、高度・専門機能「救急医療・災害時の医療Ver.1.0」の認定を受けました。「断らない救急」を目標として重症および複数の診療科領域にわたる全ての重篤な救急患者を24時間体制で受入れています。

巻頭特集

心臓病センターの紹介

個室リニューアルのお知らせ

第20号

病院
広報誌

循環器内科／心臓血管外科が 連携し高度な医療を提供します



循環器内科の紹介

循環器内科医15名（冠動脈インターベンション専門医4名、不整脈専門医5名、心エコー専門医2名、循環器専攻医4名）で、24時間救急医療に対応できる体制をとっています。虚血性心疾患に対しては、ロータブレードを含む高難度の冠動脈形成術も行っています。また、不整脈に対しては、クライオ（冷凍）アブレーションや化学的アブレーションに関してはトップクラスの実績を有しており、他院でのアブレーション不成功例の紹介が多いのも特徴です。ペースング治療に関しても、左脚領域ペースングやリードレスペースメーカーなどの先進的なデバイス植え込み治療も積極的に行っています。

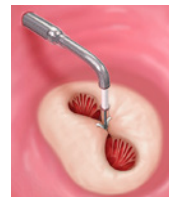
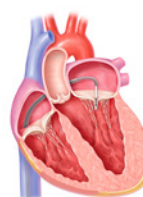
現在、2名の心エコー専門医が在籍し、心臓弁膜症などの器質的心疾患の専門的評価および治療（TAVI、MitraClip、経皮的左心耳閉鎖術）に携わり、高度医療を提供できるようになりました。不整脈、虚血性心疾患、心臓弁膜症などでお悩みの方は遠慮なく当科までご相談下さい。

● 経皮的僧帽弁クリップ術“MitraClip”とは？

MitraClipとは、カテーテルを用いて僧帽弁の前尖と後尖をつなぎ合わせることで、僧帽弁逆流（MR）を減少させる治療法です。従来、MRの根治療法は外科手術（僧帽弁形成術、僧帽弁置換術）に限られていましたが、患者さんのなかには高齢や併存疾患が原因で手術が受けられないケースがありました。MitraClipは、カテーテルによる低侵襲な治療法で身体への負担が小さいことから、このような外科手術が困難な重症MRに対しても治療の機会を提供できるようになりました。

MitraClip

僧帽弁の前尖と後尖をクリップでつまんで、弁の接合を改善させ、血液の逆流を減らします。



画像提供…アボットメデイカル

● 経皮的左心耳閉鎖術とは？

心房細動による心原性脳梗塞の90%以上は、左心耳内血栓に起因しており、その予防のために抗凝固療法が行われます。しかし、出血リスクが高く長期間の抗凝固療法継続ができない心房細動患者さんもあります。

左心耳閉鎖デバイスは、心内血栓の温床となる左心耳を閉鎖するためのカテーテル器具であり、低侵襲で身体的負担が少ないため高齢の方でも治療が可能です。左心耳に留置されたデバイスは、時間と共に人体組織の膜で覆われていき、手術から45日後で約90%、1年後に99%の患者さんが抗凝固薬の服用を中止することが可能であり、脳梗塞のリスクを下げながらも、出血のリスクも下げることが可能です。



左心耳閉鎖デバイス
心内血栓ができやすい左心耳の入口に本デバイスを留置し、左心耳を完全に閉鎖します。

©2022 Boston Scientific Corporation.
All rights reserved.

● 心臓血管外科の紹介

心臓血管外科医5名（修練指導者1名、心臓血管外科専門医3名、TAVI指導医1名、ステント指導医1名）で24時間365日救急医療に対応できる体制をとっています。

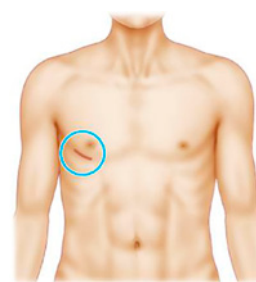
外科と言うと怖いイメージがわきやすいかもしれませんが、当科ではここ数年で先進的な低侵襲手術に力を入れており、患者さんにより負担がないように心がけています。また、“緊急患者さんを断らない”という理念をかかげ、地域の患者さんの命を守ることを使命に日々診療にあたっています。その結果、良好な成績で順調に症例数を伸ばし、今では県内でも有数の症例数を誇る施設となりました。

● “TAVI”（タビ）とは？

TAVIとは、経カテーテル的大動脈弁置換術の略称で、心臓弁膜症の一つである大動脈弁狭窄症の最先端の治療法です。大動脈弁狭窄症に対して従来は開胸手術が必要でしたが、TAVIは低侵襲なため、高齢者や体力がなかったりなどで開胸手術に耐えられなかった患者さんでも施行が可能です。TAVIはほとんど体力を落とすことなく施行が可能です。安全性も高い治療法です。



カテーテルで大動脈弁を留置



骨を切らない右小開胸アプローチ

● 右小開胸低侵襲心臓手術 “MICS”

この手術は、主に弁膜症に対する新しい手術方法で、従来胸を大きく切開して行っていた手術を、内視鏡を補助的に使用し小さい傷で施行します。胸骨を切らないため、入院期間は従来の半分程度となり早期の社会復帰が可能です。体力的な低下を最小限にとどめることができます。

● ステントグラフト内挿術

この手術は、大動脈瘤に対するカテーテルを用いた治療です。開胸や開腹をしない低侵襲な治療法で患者さんの負担は軽く、術後1週間以内には退院できます。当施設はステントグラフト指導医が在籍しており、複雑な症例や緊急にも対応しています。



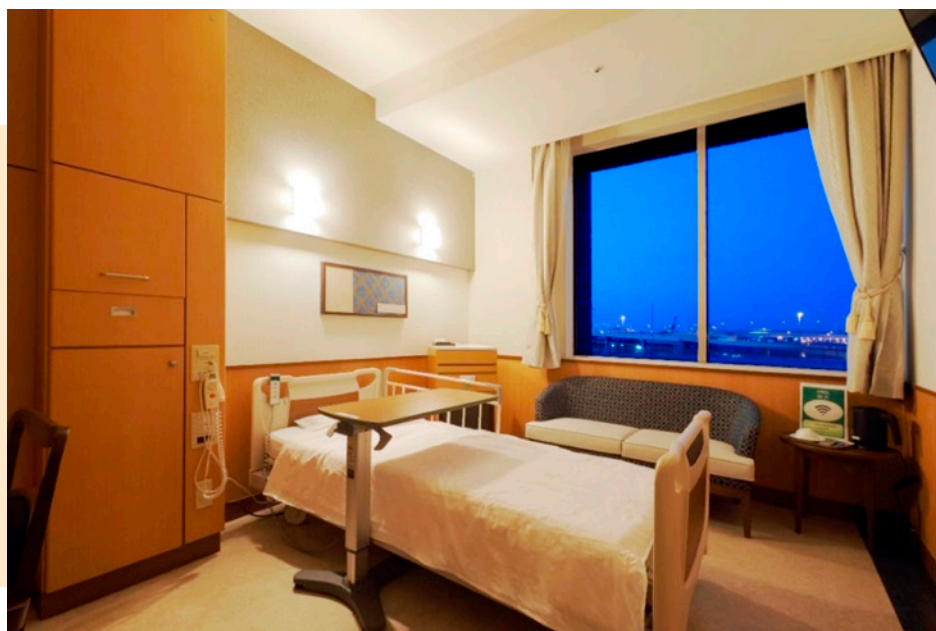
血管内に
ステントを挿入

画像提供…エドワーズライフサイエンス株式会社

より快適な療養生活をお過ごしいただくために 個室をリニューアルしました

特別室Cの紹介

特別感のあるクラシックなインテリアに、壁掛けの大きなテレビ、ゆったりとお寛ぎいただけるソファなどの充実の設備を備えた、快適性と機能性にこだわった贅沢な療養環境をご提供いたします。特別食（昼食・夕食、食事制限のない方のみ）やティーサービス、Wi-Fiや朝刊のご提供など、特別室ならではのサービスもご用意。また、入院生活を快適にお過ごしいただけるよう、専任のコンシェルジュが入院から退院まで、些細なことまでサポートいたします。



コンシェルジュサービス



ティーサービス



特別食



朝刊サービス



大型テレビ(40インチ)



映画チャンネル



Free Wi-Fi

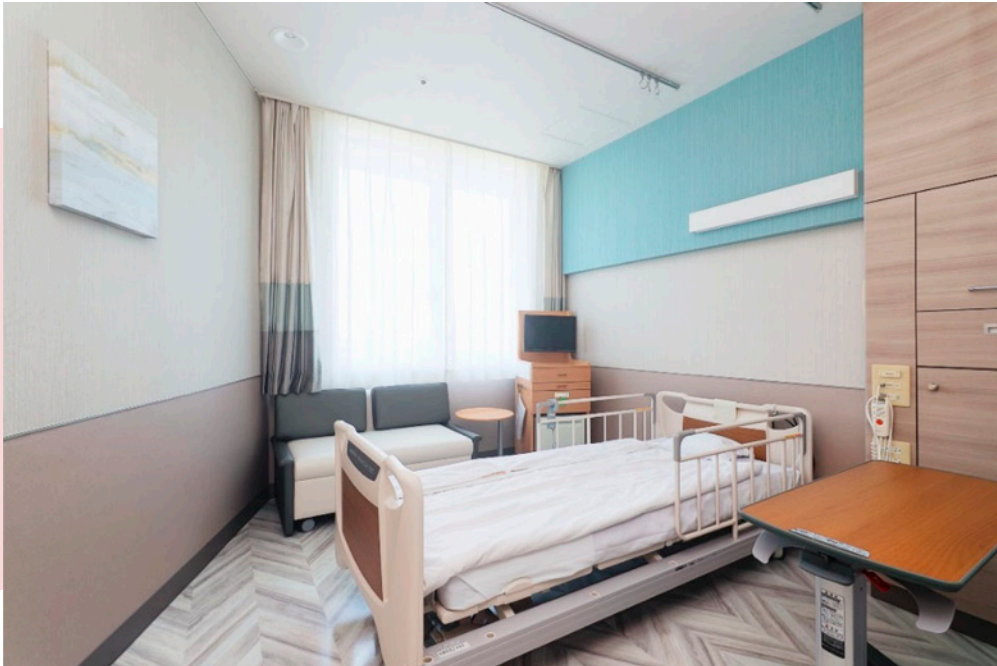


オンライン面会支援

一般個室Aの紹介

木目調の落ち着いた色合いでまとめた、自然光が映える明るく清潔感あふれるお部屋です。ソファは背もたれを差し込むことで拡張することができ、ご面会の際の利便性を図ったほか、ご家族等のソファベッドとしても使用することができます。


ご自由にご使用いただけるシャワーを完備。ご自宅にいるような安心感をお届けします。



 シャワーを完備しています。

今回ご紹介した個室以外にも
快適にお過ごしいただける
個室がございます。



 ぜひこちらのQRコード
から詳細をご覧ください。

● 個室に関する詳細は入退院支援センターまでお問い合わせください。

入退院支援センター〈1階〉 **[直通TEL] 045-628-6337**

- 個室を希望される方は、入院予約の際にお申し出ください。
- ご希望どおりのお部屋をご用意できない場合がございますのでご了承ください。
- 入院予約後や入院中であっても、個室の希望はいつでもお受けいたします。



メディカルアシスタントを紹介

「医師事務作業補助者」という職種をご存知でしょうか？

医師事務作業補助者とは、医師に代わって事務的な作業を補助する専門的な職種で、医師が医療に専念できる環境づくりを進めるため、全国の病院に広がってきています。

当院では医師事務作業補助者を「メディカルアシスタント」と名付けています。現在16名が診察室や事務室に席を置き、医師が行う電子カルテ入力、患者さんとの検査の日程調整、診断書作成等を補助しています。

事務的な作業が減ればその分、医師は診察や患者さんとのコミュニケーションに時間を割くことができます。

現在一部の診療科にのみ配置していますが、医療の質の向上や医師の働き方改革に向けて配置が進んでいくと、皆さんにお目にかかる機会が多くなっていくかもしれません。



メディカルアシスタントが同席している診察室の様子

初診時・再診時選定療養費の金額が変わりました



令和4年10月1日から紹介状をお持ちでない外来患者さんにご負担いただいている初診時・再診時選定療養費の金額を厚生労働省の診療報酬改定に基づき、下記のとおり改訂しております。

当院では、患者さんにとってより円滑な医療を提供するため、地域の医療機関との連携を推進しております。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

●対象となる方	初診	他院からの紹介状をお持ちでない方
	再診	他院へのご紹介後も、当院で継続受診を希望される方
●ご負担金額（医科・歯科共通）	初診	5,500円 ▶ 7,700円
	再診	2,750円 ▶ 3,300円



「かかりつけ医」をお持ちください

厚生労働省では、まずは地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けて、専門医、専門医療機関を受診するとともに、状態が落ち着いたら地域に戻るといった、受診の流れと医療機関の機能・役割について、周知・啓発を行っています。こうした紹介を受けて受診した場合、「選定療養費」は不要となります。



<https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou.html>

